

わたしも
あなたも
「知らなかった」では
済まされたい！



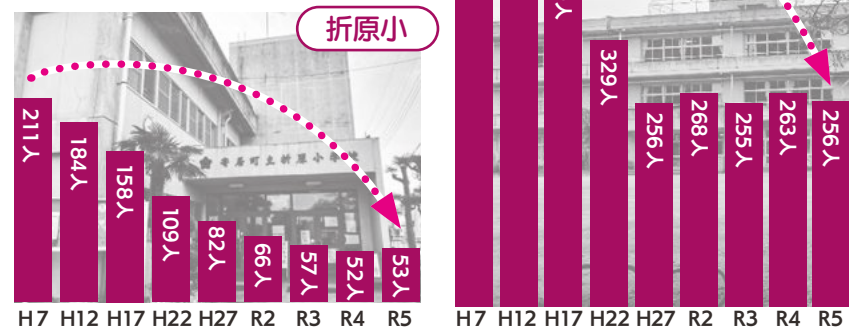
もっと多くの方に、ワークショップに参加してほしいです
(意見交換会にて)

これが
現実！
テーマ
1

校舎は
築50年以上 児童数減少！

学校統合 (折原小・鉢形小の統合)

児童数は30年間で
「折原小4分の1」
「鉢形小2分の1」に



ことば

(*) 複式学級…児童が少ないために1つの学年児童だけでは学級編成ができない場合、2つ以上の学年を一つにした学級のこと。折原小の令和6年度は5クラス (うち複式学級は1クラス)。

「校舎の老朽化対策」
「折原小は複式学級(*)が常態化」

あわせて
読みたい



城南中学校区学校再編整備方針及び統合実施計画



折原小の校舎は昭和46年度建築。教室天井の雨漏り (左写真) やサッシの腐食、廊下のタイル剥がれなどが見られる。鉢形小は昭和45年度建築。同様に校内にコンクリート亀裂 (右写真) をはじめ給水管のさびや屋上防水コートの穴あきなども……。

議会では

町から報告を受け、全議員で協議を重ね、
40項目の「意見」を要望

- ・目指すべきは一貫校、一貫教育 (校長・教頭の体制も検討すべき)
- ・国の基準 (通学路4km) にとらわれないスクールバスの運行
- ・放課後児童クラブ (学童保育) を城南中敷地内に設置すべき
- ・跡地利用 (避難所機能だけでなく多様な活用を)
- ・教職員体制の充実 (9年間の指導方針の一貫性) ※以上 主なもの



全員賛成で可決

ギカイ議論 折原小と鉢形小を統合
(仮称) 寄居町立城南小学校を設置
寄居町立学校設置
条例の一部改正

- 問** 学校の名称等、具体的な検討は進んでいるのか。
答 今後は統合準備委員会で協議していく。
問 引き続き丁寧な住民説明をすべきでは。
答 オンライン同時配信も実施した5月9日の説明会には58名が参加。保護者への連絡ツールは83%の方の既読があり、説明会に参加できなくても集約化を冷静に受け止めていただいた結果と捉えている。今後も丁寧な説明に努める。

録画映像
(1時間23分35秒
あたりから)



この場面
映像あります

これまで町では

- ①令和5年9月からワーク
ショップ(*)を5回開催
(城南中学校区区長、民生委員・児童委員、PTAから選出されたメンバー36名で構成)
⇒通学環境の整備 (スクールバス)・学童保育併設、跡地利用など多岐にわたる意見要望
- ②児童生徒のアンケート実施
(折原小・鉢形小5・6年生105人、城南中1・2年生82人)
⇒児童生徒数の「多い学校」「少ない学校」の「良い点」「良くない点」は？



- ③町内学校長からの意見聴取
- ④パブリックコメント

▼写真は5月18日に開催された議会報告会・意見交換会。町内小中学校PTAと学童保育から33人が参加。課題をはじめ、活発な意見交換がなされた。



特集

町民と共に
考えるシリーズ

ギカイの視点

寄居町議会は5月18日に町内小中学校PTAと放課後児童クラブ (学童保育) を対象に今期2回目の「議会報告会・意見交換会」を開催。ここで特に意見が多かったのは「学校統合」「放課後児童クラブ (学童保育)」の2つでした。学校統合は町が避けて通れない「公共施設等総合管理計画」に基づいた重要な課題。学校に関連した学童保育も逼迫した状況です。これらの課題を他人事ではなく、自分事として捉えたい。そのために議会は、皆さんの「なぜ?」「に答えて、正しく知り、一緒に考える」ことが大切だと考えます。あなたも私も「知らなかった」では済まされない。町の未来を決めるのはあなたです。